



持
15
12832
6

大同元年分大目錄

一西征越あちも秀志は嘗て城に籠入事

一榮田役ゆゑ毛多受助忠犯之事

一秀吉少府表被寄陣えり

一榮田切賤え支

一ト村六石生耐心丸年事

一榮田役六作久乃之毒來生猶す

一レ度於柳川有戰功者被寄事



大同紀事六

小此翁著之在海錄

丹羽久右衛門尉也秀忠庫嶽之隊一隊入軍
長為之比ハ安川井に引く内志がえも將軍
詔と能く故に松居城と一省へりと小國勢
以御ん為務とか數變表にこそ又後は所
体に七八紙と云はれと隨處けり實に八月十七
日秀吉農ノ教出法のゆに付く。禁西に附を
叙とえ城とすと小姓とすと餘人^{クニカニ}二
三等と定めぬか六艘に取繩舟^{サリ}と船舟^{スル}行
をく成^ルほく鉄炮の弓弩^{アマヅキ}をひたり。諸とく

達六旗行地多く立さるき。も爲家一は
敵志は等^{カタチ}。攻めても勝利せしも有。船と馬
に立^{カタチ}よともぬて、まか。旗行を在生尉江口^{カタチ}
在生尉等も、立^{カタチ}たむあがへと是處をふ
移り近^{カタチ}はむえ城^{カタチ}堅國に立^{カタチ}て
往^{カタチ}二三^{カタチ}立^{カタチ}やう矢取守^{カタチ}。城^{カタチ}也
交と西^{カタチ}ハ、改^{カタチ}つて、立^{カタチ}て。舟と馬^{カタチ}
船はくき^{カタチ}、勢を立^{カタチ}て、立^{カタチ}て。馬^{カタチ}、船
立^{カタチ}おと^{カタチ}視^{カタチ}む^{カタチ}。日五里^{カタチ}、海も^{カタチ}
て、勢威^{カタチ}。又^{カタチ}まくして、勢威^{カタチ}て、せき

旗行に立^{カタチ}て、作^{カタチ}りや。も爲^{カタチ}田^{カタチ}と^{カタチ}、旗行^{カタチ}
立^{カタチ}。船^{カタチ}の立^{カタチ}事立^{カタチ}く、有^{カタチ}れり。一
志は等^{カタチ}、船^{カタチ}が弱^{カタチ}く、立^{カタチ}生^{カタチ}尉^{カタチ}甚^{カタチ}くね
れゆ。敵^{カタチ}に、や作^{カタチ}て、交^{カタチ}弱^{カタチ}く^{カタチ}と^{カタチ}よ^{カタチ}。
志義^{カタチ}漕^{カタチ}も、立^{カタチ}と^{カタチ}。も先^{カタチ}は城^{カタチ}く^{カタチ}やめ
たり。くて、船^{カタチ}強^{カタチ}く^{カタチ}也。同^{カタチ}、^{カタチ}曉^{カタチ}報^{カタチ}あ弱^{カタチ}中^{カタチ}川
城^{カタチ}兵^{カタチ}尉^{カタチ}も、立^{カタチ}と^{カタチ}。大^{カタチ}害^{カタチ}を、せん^{カタチ}。此
旗^{カタチ}行^{カタチ}、立^{カタチ}と^{カタチ}。作^{カタチ}は亮^{カタチ}し^{カタチ}て、も。此
うき。江^{カタチ}に、立^{カタチ}と^{カタチ}。こを、す^{カタチ}。船^{カタチ}

此頃小軍勢入らむ。城をえどしたとへ捨切
せんて御使す。あにゆく。魚さめへゆく。是
所うひやにとどけ。はな。以れも。もあ來ふと
敵に。脅きしはな。さへ。ひそん。併は亮
く。是もや。か。老とづり。か。黒の村
守。城を。勢を。と。ま。陣。立。伸く。是へ
坐と云。坐り。坐り。ま。立。伸く。是へ
加勢有んと。八百にて。かとて。と。ゆ。だり。乞
じ。か。合せ。ほ。か。う。黒。村。守。と。ま。時。も。希
く。合せ。と。ハ。翁。く。日。ひ。く。れ。さ。か。立。飯。と

被下へに。出で。下へ。力。と。有。一。く。幸。一。守
て。う。の。ま。へ。よ。り。と。約。も。魚。を。と。魚。を。を
而。へ。み。れ。黒。村。と。魚。と。も。魚。を。と。魚。を。
か。守。と。入。を。か。魚。を。か。守。と。魚。を。の。城
と。公。金。の。よ。う。り。と。さ。う。と。う。り。い。が。う。
或。日。信。も。ろ。う。を。ま。れ。時。ハ。葉。田。繫。西。湖。川。お。ね。等。う
ろ。う。軍。れ。お。後。と。劫。と。し。こ。な。も。み。お。い。う。年
佐。窮。う。一。弱。き。め。り
不。破。表。三。作。名。久。ち。生。蔚。う。津。一。取。よ。し。と。ね。の。

再び路より離れてまことに累々と云ふハ
今にゆきりくあおひ下れこよも用
とせよ。あくあきつむせむ。既に既にたゞ
い社主。わくとく御もせらう。ゆき。もれ
ゆすりとくは。既に。既に。既に。既に。既に。
さかへと。既に。既に。既に。既に。既に。既に。
中もぬきと立。既に。既に。既に。既に。既に。
からえ未節。而缺。既に。既に。既に。既に。既に。
そく。既に。既に。既に。既に。既に。既に。既に。
乃處も。既に。既に。既に。既に。既に。既に。

御坐て。既に。既に。既に。既に。既に。既に。既に。
たせんとの。既に。既に。既に。既に。既に。既に。既に。
かううと。既に。既に。既に。既に。既に。既に。既に。
を。既に。既に。既に。既に。既に。既に。既に。既に。
陣拂ひ。既に。既に。既に。既に。既に。既に。既に。既に。
たり。既に。既に。既に。既に。既に。既に。既に。既に。
へ。既に。既に。既に。既に。既に。既に。既に。既に。
奉り。既に。既に。既に。既に。既に。既に。既に。既に。
ゆと。既に。既に。既に。既に。既に。既に。既に。既に。
六度死一町くに。既に。既に。既に。既に。既に。既に。既に。

うそよと謂う。敵もともと方をかくに付
かひままで、鐵炮を小こちくから引けに
きうらり。原とあ井と立代く、安さんと
御てニ番のひだりけした。うなに敵じや有え
あ井ハ引れくゆてにまく原一人にてあはに目
をくらう。おなに下知。乃引う。ま東勤セレ。
原勤兵傍毛井のあたゑ。ト、原勤兵東勤毛井流六
毛井。原勤毛井射角田と引ゆて、毛井射
一。安近江れハ敵もひつと引ひく。青木ひま中
にくり半たとうはく。跡伏ハ毛井にゆくを

よとて二三度川辺徒谷を突き。すくに
縄をひだりあひはよ。あま計引ひき
突り。敵思よ程に付さるけり。せむせん
お見ゆき。わざとひ狀ひ。後、東ノ勢
に北へひだり。外と。榮田三元傳尉。主
條瑞代勢が卒。志津家^{アシカ}の岩崎より傳き
と。おも日越に。南に向く。弊をゆへ敵勢をふ
り。有げう。見えま數え一万五六千人弱。
やうに。志津家の少子もしくりと。金霞
えぬをしり行う。かね薄伏ばかりく有。

三月三十日。紙背へてやうに筋引よ
多々をそひ。引ひくとはあ度だ乃
ち。かき蟲先と二毛たすとせよ。要
秀吉六軍北印と約束本丸をまたがれ
矣。お出。あ達する城乃南に旗とさ
せ。坐。ら候炮えかりふれに場をもつた
れ。不候。只。時。江戸と。え。主事至
る。え。は蟲。母衣。考。と。ひ。御
付。く。の。作。と。云。も。と。と。利。と
附。切。り。川上。ひ。と。あ。夜。に。わ。

トヤウ。時のキナムラカミ冬ニテ、候トシル。御
タチ。敵兵、此より更をのすとヤハニ。勝ヒ、清身ノ礼
シ。右地名、サワラサワラ。されど、旗、モトカ空丁て、小姓モユ
は度紙、ヨリモトセ。可付て。多為モヤシ。と
佐野モ、御下御。タク。お松ヒ太先主行
務物モ、ヨリモ、三りけに、縊。鴻市ヲ、移在虎山
内。延六平、此種モ限。及肉鶏、毛助之、博野府
相助作。モ秋だ。と、引付。モト、玄蕃
翁、江戸、高と呼。先子モ、堺。又、元能
上計、ひ坐。と云。今引モ、モト、毛利

して嘗成すよりと文射ひよ故ゆうと云
あらた而てやまと引ゆくされば射者
兵馬尉山野村坐宿舎セラ兵尉と仰る
坤令ト。おひちえに弓を打つびと等
くの何無物と名乗る。弓を放せば然り。
かに討死あくたり。波多モ勘定兵尉は射
在兵法修習日向さハ筋切を跡メ。紫
毛羆追立内に。想歴虎助因強宿十計
え小糸元與く者と。どもきよとあくせと追
立内にこそ。首をあわせしも宋得の方を

首へうさとヤマツクマニニ有源色勘定
兵射兵良又知ふと。初とテ。空
に。もむねん。ソシ達と。高シと。セ。タ。タ。
タタタニ。人丸に。首。爲。リ。ウ。ヘ。ト。難に
至。大儀令。名。並。ア。モ。討。獨。セ。禁。内。ニ。難。
門。足。と。机。シ。シ。ノ。久。モ。ナ。サ。カ。ト。ヒ。二。
町。計。引。取。け。に。兵。主。の。小。姓。え。ひ。ヒ。と。り。て
逃。れ。や。た。が。田。兵。兵。兵。尉。山。の。難。主。モ。不。
二。子。徐。え。身。と。二。医。工。傷。く。有。一。を。後。モ。ト。一。佐。之
ア。ス。ア。兵。ニ。く。か。味。方。波。石。右。に。仰。公。ト。も。

敵て。あらう。將軍へたり。主事先をひらえ
軍へ。さう。うちからうへあそと。大刀眼と解と
立す。かげるまに。京義兵兵士も。こわがく、
瓦極く。不あなり。さうの軍へひきり。將敵
勢ハ。謀定。多く成。宋乃ミ。母ハ。うらう内
うらくに。主とく作。影くハ。主と一念致之
か。先。八十万騎うちと。えれ。某きとも。うす
との我勢敵を。度く。寔く。ほら。も。どうぞ此
程を能く。也。ゆうてや。す。う。安。ひ。へ。ゆ
け。ひ。う。一。れ。ほ。公。あく。近。作。つ。國。く。ハ

ノ作を。蓋金錢を。と。告。く。行。也
一。う。う。を。蓋。乞。保。と。仰。き。司。わ。さ。り。一
主。う。と。蓋。い。ま。た。吾。と。う。う。さ。ゆ。ス。あ。方。れ。努
主。う。り。ハ。お。の。こ。う。く。漫。生。と。う。墨。う。六
吹。わ。れ。本。氣。吹。す。に。幸。わ。ヒ。勢。八。主。十。童。
あ。づ。く。吹。め。り。」。不。國。勢。乃。う。に。ひ。く。れ
ぬ。弱。去。と。れ。と。う。表。つ。ち。め。れ。か。と。み。お
う。う。れ。出。封。ち。勇。じ。は。く。時。ハ。う。う。り。也
と。ゆ。く。也。嘗。と。う。う。一。ひ。こ。そ。主。事。先

大廣記

伏見のち久石秀、勢が収軍に敗るるを
有白浦秀之内七不撃え云と述と今
云トも多うり」と云々其れ曰く、海に敵舟と
詔布を下りし。二人討取。宿舎也。
主義先守、若也何以能。其抄也に
内に小京新七宿食す。其あえふる事也。尉
少也ゆきよし、轉て公也
弓也所計の内、純もあよびき。又羽喜
大兵、あ日りと互に、其も純にひそむ生
れゆめ、甚うも將也

○晴家経和毛文秀物忠死之事
紫田小姓^{ヨシタノサヘ}を召す勢七^{セトナナ}の隊説。今之謂り要害
赤城^{アカマツ}以御^{メテ}其陣^{シキジン}を立^{タチ}。云處久傍^{クニヤハ}に安不
引取^{ヒカル}と也^ハ之^シゆき^{ムカシ}引^{ハシ}取^{ハシ}と仕志委^{ハシミ}は林立^{タチ}
云者^ハ一^{イチ}丸不^{ハシ}用^{ハシ}。ひうち^{ヒウチ}一^{イチ}くも^{ハシモ}。もと^{ハシモ}に開^{ハシメ}き
者^{ナリ}と教^{ハシメ}くに乃^{ハシメ}て有^{ハシメ}て、
に紫^{アメニ}衣^{アメニ}取^{ハシメ}付^{ハシメ}すを寫^{ハシメ}す。ゆか^{ハシメ}さとがくく^{ハシメ}ゆか^{ハシメ}ゆ
れ^{ハシメ}るを矣^{ハシメ}。さあ^{ハシメ}つあ^{ハシメ}そし^{ハシメ}。ひやう^{ハシメ}ゆ^{ハシメ}不^{ハシメ}の意^{ハシメ}
を^{ハシメ}と亦^{ハシメ}先^{ハシメ}九^{ハシメ}勝^{ハシメ}宋^{ハシメ}陣^{ハシメ}に至^{ハシメ}。主^{ハシメ}事^{ハシメ}
引取^{ハシメ}す。不^{ハシメ}りて^{ハシメ}よ北^{ハシメ}とめ^{ハシメ}けん^{ハシメ}すまに^{ハシメ}ば

主吉と申すに秀吉あ久和道一公
を率一。農村より兵船奉じて燒毛津く由何
ちゆくか居りては軍中難堪と云。つゝか
こゝに於さりき心性弱下り者九分多く此疾
害病にてり。更れありて病にも有。幸く石
城失ひ度に走ぬ程。どうりく一戎車八百
一と早よまた作縉々處多に當く。後砲
の音ことく。一と早よまた作縉々處多に當く。後砲
そく一。殊津中危く。車も下坂。之に
と急て者一。おなづ小石城討伐脚本と主

義と曉あはる。と作へ歎ひたとり
先くアヒシと云。六箇家ゆもあくと行
こう。あくと云ひ行き。仁他家元に至不義
レ。と勢と備へ持てたり。而一や近所の六
剛に尋め。西北方を義兄守。勢故軍に及
高次もなき。伏見。殊房て二府を勧せた。旗が之勢
十赤い。北城。ト。が。と。なく。僅。二。計。に。成。り。ハ
勢勢に。く。れ。よ。勢。く。れ。多。勢。に。向。り。す。者。あ
人。と。長。サ。ド。キ。一。と。候。た。亮。多。欲。れ。懷。だ。と。う
哉。而。と。か。け。に。く。も。と。一。段。行。十。紀。一。生。に。極。也

及多載時、猶豫せ。我と争ふと、蒙るれど、若
むからと、猶めうやうやく、も、妄猶かと、起と見
禁四に、乍けは、勝とえ上とうううすに、お似ひだ。
之は、首尾少くとひて、度々軍に、なきころ下で
あまに、おうぐに、因くも、かが、あら有そ
かし、度へは、まゆ懸^{スル}、無度あり、すか下で
ほくちやく、雨の氣、必ず失ぬ。既り、是を
思ひ、事と先もれ者、いそまく、
も、下くこと、萬ちう一も、皆極
運の、手眼、目に作。そじくを、いうひな

多付死抜うき生名と知るか、ひくひくと
所^レ。後代やくくに行うれ身。れく、ハシモ、用
通^シ、海^シ、たまき。少^シつに、即日害作^ハ某^シ
も、高仰^トと清寂なり。然後代よそじく付死と、
キリ。之は、急^シに、胸^ハ陣^シ、家^ハ、^ヘ新^カト
上作^フ。も、和^シうるむと、急^シに、御^ハ、^{イサ}、^シも、^ク之^ミ
處^ハ、うき、自^由と、急^シに、御^ハ、^シも、^ク之^ミ
そに、ゆくと、猶^シ、おなじ、ハ、おなじと、立^カ、^シも、^ク之^ミ
タに、ゆく。やく、有^シ、元^シ、^シも、^ク之^ミ、^シも、^ク之^ミ
辯^シと、念^シと、一^ナり、猶^シ、ふる^シと、清寂^シ我

ひく者三百餘合。かの猪家え小姓る回りく
ち右ノ門。原矢人あ居モリ。萬害モリ。而
そに取入も母書ある。と取てのゆと。而ゆえ
に歸つて。りをり。うて。至故山。村あまた
ぬう。そきくと云一時。清風。すまむ
わく砂。すり。道の兵。紫四。手。手。手。
に修は。亮。こそ。わく。手。あく。手。手。手。
り筋。を。制。止。ゆ。と。せ。ナ。又。猪家。村。物。名
と。ひ下。に。舉。と。考。じ。も。有。く。を。く。と。取
事。一。更。に。猪。名。乗。け。ハ。二。下。に。歸。な

き。鬼。紫。風。と。云。ハ。鬼。風。と。て。あ。ら。ま。は。袖。
突。て。お。れ。二。町。あ。ま。と。う。と。ひ。り。き。に。く。り。
か。か。よ。み。と。見。の。も。受。氣。在。生。村。教。訓。て。そ
う。其。ゆ。と。ゆ。く。ば。く。か。と。二。所。は。御。紀。と。思
向。いた。敵。は。逃。ね。い。ま。し。り。し。然。猪。竹。行。室
に。あ。い。て。う。や。ま。ひ。え。け。ん。く。一。や。く。れ
あ。ひ。名。ま。あ。ま。く。討。死。伏。と。字。ひ。た。其。極。運。伏
く。く。猪。の。筋。く。ん。や。ま。方。ハ。老。母。の。考。の。う
け。の。き。者。と。推。す。と。字。と。あ。ハ。終。は。因。貴。よ
か。か。猪。こ。青。の。火。と。く。能。く。考。り。ご

云一車をうづくらふにあつて。もとをも
波多のどこのまゝな爲名^{アマナメ}とぞに有らん。と
も無事の事程^{アシタシヨウ}波多に歸^{カム}て。又はと
て乃さう^ノ毎のこうにも遠^{タロ}く^{カカハ}海^{シマ}に
りんやとく。兄弟^{ツカニ}に也死^{スル}難^{ハシ}。美^{アメ}那^ナ
に公^{ミコト}ノ御^{ミコト}ノ^ミ紀^キ傳^{タリ}。明^{アサヒ}ハ^キ御^{ミコト}
義^{ミコト}先^{ミコト}方^{ミコト}坐^{スル}御^{ミコト}。新^{ハシ}ハ^キ事^{タシ}也。
新^{ハシ}ハ^キ入^{スル}攻^{アサヒ}入^{スル}。あこ^{スル}け^{スル}に兄弟^{ツカニ}、
姉^{ミコト}く^{スル}者^{ミコト}多く有^スて。寔^{アサヒ}近^ム。且^スも
さすが^{ハシ}ひし^タた。或^スモ反^ス或^ス討^スみ^{ササギ}す

く^スに底^スに下^リ。秀^ヒ井^ス兄^{ミコト}に向^く。秀^ヒ井^ス逃^ハ少^シて。宋^{アリ}
據^ス。一^ノ矢^ミと^ク刀^ミを抜^{ハシ}ひ^スん^ス。さく^スと^ク計^ス
後^スに食^スり^テ。腰^ミから^ス糸^ミと^クゆ^ス。砂^ミ付^スた
に兵^ミ十^シ余^人引^フつ^ミと^ク突^キて。お散^{ハシ}よ^クお戰^スい^タ
ち^ミじ^ミと^ク後^ス兄^{ミコト}腰^ミを^{ハシ}切^{ハシ}り^スす。お^ス身^スハ
柳^ミ井^スの隣^スり^テに^{沈^{ハシ}ミ}立^スる^スれ^スと^ク立^ス上^リり^ス
今^{アリ}い^シ剛^{ハシ}のも^うりと^ク。此^ハ市^ミ豊^ミ侯^ミ童^ミ
ても^ハ是^ミ一^ノ秀^ヒ井^ス府^ミ中^ミ城^ミに^モり^ア有^ス。
又^スは武^{タタケ}。其^中岩^ミ井^スが^スて^レ移^スん^スて^レ室^ミて^レ
極^シ運^スの城^ミ。遇^スく。や無^シに^シ文^ミに^シ系^スり^スお

はすとすひを湯瀬城をもととして、
に食す。さればよるとて、まことに、湯瀬城。
がもすそりほりんと、まかへし。城、辯、ゆく。
いすかう。又、いや。ども、城前もとある入院
代、走れり。まじ、まじ、櫻町派を、アシドセ
うきひと。うきひと、うきひと、うきひと。

宿日、宿家を剛、アシドセ、に、依て、がく、城を、く、府中
之、城主。辯、いも、たく、ま、壽、櫻町派と、ゆく。伊豫守
津めうり。又、守、尉もとく、人立出、さ、亦、之
移り、時、て、し、と、人、よ、りて、繩、繩、城、尉、あ、堵、と、お、ぐ、

猶、お、都、御、御、アモ、か、月、サク、の、く、れ、程、小、城、
紫、田、山、石、未、つ、尉、小、説、を、接、む、中、村、又、御、村、極、高
中、村、う、な、若、尉、わ、ま、基、兵、備、尉、う、ま、公、教、了、セ
トリ、三、役、軍、主、壽、元、大、利、ほ、く、と、卑、連、不、引、立
れ、敵、度、派、石、某、一、代、功、名、と、一、時、元、一、。是、会
が、か、本、さ、う、う、云、不、り、及、生、け、れ、事、だ、う、も、
よ、う、と、し、む、あ、せ、く、因、累、を、く、。以上、六、多、さ
れ、く、え、人、殺、て、く、そ、り、休、き、よ、と、え、レ、く、ふ、之
殺、し、者、凡、て、か、も、ほ、ん、者、殺、作、て、ゆ、基、尉、等
四、文、ト、く、そ、り、あ、く、旨、小、元、怪、と、極、も、あ、た

了ば已付竹に

一處住つて十数十家。乞ひもすとある方未
聞有り。うちも十数家ありて老連は
必ず、刃の力有る。之は義城。然うとも若
いから仕事はくせよ。利家ハ府中。之は義
家にあたる。奥村。越後。高麗。之は府中一
里。あらわし。河。百人。ノト。アリ。くらべ。内。之。よ
父兄刀。翁。翁。信。也。直。系。ト。アリ。あら
わし。宣。興。之。空。工。運。主。果。ト。ナニチラ。
之は切。雅。ナニラ。カ。サ。モ。タ。シ。ム。

父兄を除く。之は無。不。是。一。利。家。孤。者。に。ア。リ。竹
と。ハ。母。一。乃。か。リ。之。空。ト。ア。リ。サ。バ。ソ。レ。シ。テ。ミ。シ。ル。
又。在。奥。村。み。の。奥。川。近。候。モ。今。食。を。ア。ン。ド。取
多。所。有。り。ト。く。多。少。ナ。ア。リ。モ。二。名。字。成。す。ア
リ。先。祕。に。鄰。不。考。ア。リ。是。ニ。ア。リ。ノ。第。傳
と。傳。さ。乃。理。ト。ト。モ。ト。テ。傳。ト。ア。リ。ア
ニ。毒。ね。胸。内。兵。協。射。そ。ハ。ア。リ。ニ。毒。之。内。行。く。
然。と。が。リ。ト。ア。リ。は。義。勝。傳。空。ト。ノ。小。養。法。院
ヒ。ト。人。公。シ。ト。モ。ア。リ。ク。以上。人。以。セ。之。奥。學。ト
ア。事。ア。ヒ。キ。ト。オ。世。ア。ノ。都。目。御。ツ。ア。

軍と蘇盛にまつて、城を圍む。いわゆる「くも」。
そ此のをさんども、蘇盛も、おまがれ即ち、二人
侍くたり。

或はお浦つて、ハアキリ、き者なく、有り難い。
掛んと、身をも、徳く、さらうあり、一者にく。
お車も、車をも、一ノ車、と、二人、送候ぞ、附り。
三轡ね平市ひ坐候、まめえにつくおは等々、隊にく
じにする者、ゆとわし、仰りて、おおおおおおお
アラア基立兵備新機、アリに、トロミ、こうりんう。物
おも急ぎ、お列、とて、城を守りよと、うけ時。

志はりとて、又は見候うば金を、志よと、諸人の
吉浦あらまえ、ねまえ二事、ほほほほほほほほほ
え、ほほほほほほほほほほほほほほほほほほほ
ほほほ。

軍事、傳、まほ、集射。是ハ、書よ伊勢守少佐、内屋
館、下、仰、在、寺、に、南、方、に、ち、一、也。と、無、威、有、且
多、す、と、多、而、太、陽、す、又、こ、生、す、り。侍、家、も、尔、ハ、予
り、に、も、れ、と、急、き、か、く、と、お、法、令、お、せ、と、有
時、いやら、ひ、た、り、つ、や、さ、に、代、往、む、う、ち、ま、え
御、御、謝、さん、と、お、何、き、の、橋、う、り、と、結、取、ま、え

大清紀六

一十七

人也。豈知國人之累乎。矣

立素多士もへぢ人匠作よりひく。若夫
有う。病氣中とびひ。自らう。乃は身と成る。
是れ、固て也。不人には。重膚厚皮れよと
五臣百僚年。即ち。行。之。事。不。之。も。之。極。上
す。人。と。其。目。に。之。切。腰。也。

古事記傳
卷之二

六書皆一而為二也。子雲大史。上故太始初年。兜玉

七歳小病トモあひ病トモの年下トモにちりあく肩カミ興アラシ
ゆれトモ時トモ大年トモの口トモ能トモよ小汚トモ名模トモも
男彩トモ十人衆トモ也トモ病氣トモ柳トモ花トモ也トモせ又トモ方トモ

口ウ
只今新砌セイキ。全忠孝ゼンシウと書付す。

大清六

十八

九萬大金も未勝門尉。先へ葉田孫不萬尉う焉う
ちり文へ霄に龜つてゆき生へ毋本元中大とすす
しりて医とて後こりて文にと考す
佛事へてくらばか輕キ人すく金くと
にちう者えど而ばやうり黒ねあうわう
六く蟲へ内れらく宿令はうとともと文
字俗の口號り仰。文有は高皇廟也。三ノ子は
仰武之と哉。されば龜へ利家がい人實伏せ
ぢる便ひ西うす仰り。うち又不萬尉承程
公事へと仰りと與くれぬがふに名介エ
ゆくと後もいづれに仰り。うち只法下う
うと有。ふもせ下人行へり。わきへせぬ
をよそと。法人の多びよかく。黒。うち中村
うち萬尉ハ國作内アリ。生焉。うち馬。二足を
嗜一者。うきひ。と。うらみ。千疋付。仰り。うち
丸ゆ。うち。うらみ。仰り。千疋付。仰り。うち
船。うち。うち。うち。うち。うち。うち。うち。うち。
諸君。うち。うち。うち。うち。うち。うち。うち。うち。
候。うち。うち。うち。うち。うち。うち。うち。うち。

秀吉は近所とあるをと追従せり。二下
後は素よりらむて、もとに府中をさへて、討符
れの日、それねどおへ府中脚立を立候え
ばくく津ぬにあり。

一 心志義と寄津事

一 聖目せ二の心へ行よせし而勢ひ未だ勝
市は先づて、もひ弱かく、萬千乃深井に倒
せキリと。されば、持事。

一 無心をかくすも、ぬ衣とも、無儀ひまつて
守る事

一 酒坊とくき你事。毎酒家に入ゆさず。
一 一猪の口にかけもさへ事。
一 猪の口にかけもさへ事。
一 合戦とて、傳へ承諾し、身の有へ事。
一 大事とて、手を送るわざ此方も之。
一 とくう子邊調さを今まで、おまつすにあ生活
小辯の事。おまつすにあれ、体多病とて、衰弱
でござりぬ。お次ぎれくと、お門をうちて踏
きこえをせんが、お次ぎれくと、お門をうちて踏
きこえをせんが、お次ぎれくと、お門をうちて踏
きこえをせんが、お次ぎれくと、お門をうちて踏

告られひれのうるきとニニル丸乃人ふ底高
ヒト地接乃幸ハ中ノクアシ人セミ。花乘
素子丸貴トシルく継トシく後には、八百石を
シ。やしり南に伶うれ筋足ノ肩三ヘにゆくいぬ。
支にかきすにそくはまく一がふとく流牢
乃タと東にすき一西なうりとれに
くうきけんのうちわ。計にけむうも
らぬ先手を取徳成得事也。多様とく
くと引手で方とててに焼立一も煙す。富
にあく。元にあく。それか雲樂主をたぐ

行ひしててくらやこと取にたり。おもよ一戸に
秀吉の志陣一戸へ。お岩山へおどり。此とくや六
自れもあせ。とと便小。や城の場さへに差行た
くと付よ。必脇く一うち。度あ。ハラ快船と
ねくすとくとあく。おもおまめあくとく
鶴竹たと或たと戸ととくわくとく
ア。お者て煙風にやうせ。おとれ。おとれ。お
おとれ。場をひそて附ふと。おとれ。おと
おとれ。底中とく。おとれ。おとれ。おと
おとれ。おとれ。おとれ。おとれ。

さむる名將乃昇殿とハア身に立りがひを
禁田植六作之ちを齋えと生補て。秀吉へかくと植
家有けどハアむ事うりとて。寝殿も厚
二月アミ植六が高城ノミ秀元ハ安列金澤之
城主ナリ。梅もとを医體ト被乃ミ多。アリハ
ヒロ宗裏日本わくらゆふと。お腹アヒタニモセ
レテ痛も有て。周栗の木ト成田の木ヒシム
ト白木ナシト。山口基京新尉別団基尼房尉
にて射り。大人清和宿主引ヘボ平次中アリ
水とアリセ。恵みばあたをアヒ。アリハウタ

義竹

信秀若勝あ興元と勤くまかに勝家
父をばれ下。武をとすとやう
或政をう役益体の不尚。或佐古殿員うち
をも本多く。ほ景好興に也。せは
かう思ひ取一あひて、因ミ妻子任をも
おほくほりお督下くとせんぐた。志秀元兄
秀吉にも承をあくし。併て又みれ因ミ松
秀をも。伊勢守の理八角と云た。母をじよ
拘え。秀吉比才智八せた。秀吉。時に氣靈

安^{ハツ}モ^ニに傍^シく。左年^{ハツ}はまぬ中に至^アお勢布
も^ニ軍^シ。右行^シ時^ハ休^ム息^ムのすもの。在^リ與^スと云
奉^スとも^シれんに。左^ハ方^ハ有^ツ内^シ多^カ有^ツ
も^リ不^ト到^ル利^ハ大^キ不^トそ^ニを^レは^シ多^カ有^ツ
一^シ行^シ。此^ノ一^シ方^ハ能^ハ思^フ公^ハ事^ハ篤^シ也^シ
左^ハ秀^ヒ高^ク筋^ハ骨^ハと^ハ是^ハ莫^チ也^シ
も^リ抱^ハけ^シ。信^ヒて^シ二^ノ真忠^ハ。云^ハ即^シ事^ハ事^ハ
苦^シ狀^ハ多^カと^シ。何^シ秀^ヒ高^ク忠^ハ也^シに似^ハ
有^カも^シ也^シ。云^ハば^シ二^ノ秀^ヒ高^ク忠^ハ也^シ。
能^ハ思^フ之^一。大事^ハ有^ツ公^ハ天^ハに^シか^ハハ^シ。

○勝^ハ劣^ハ版^ハ事^ハ

左三^リ平^{ヒル}あ^ハ攻^ム敵^ヲ止^ム呼^イて^日。而^ハ日
二十二^ノ九^月。永^山中^ノノ^シ所^ハ直^{接^{シテ}}秀^ヒ高^ク
先^ハ生^{イタサ}捕^ム。今^ハそ^ニ永^山中^ノ所^ハ編^ム。而^ハ日
有^カ呼^フみ^ハ。元^ハも^シ中^ノ城^ハうり^ハ者^モ也^シ
と^シ。そ^ノ後^ハ、往^ム取^ム門^ハと^シ院^ハ。而^ハ日^ハも^シ、
く^ノ城^モう^シと^シ。取^ムに^ハと^シ。而^ハ日^ハも^シ、
上^ハも^シ下^ハも^シ。も^シま^シ外^ハ擣^ム。す^シ下^ハも^シ内^ハ
塞^ム。初^ハより、勝^ハ劣^ハに^シひて、一族^ハ窮^ム。

今ば呼^{ハシ}す。されば、あれ有^リる様^シにて
なれば、かく瓜果^{ハシ}が本^{ハシ}。年々^{ハシ}之^ヲ此^ノ事^ヲ云
にも乃^{ハシ}きと。不^{ハシ}給^{ハシ}て^{ハシ}、昨^{ハシ}ハ^{ハシ}に^{ハシ}せり^{ハシ}は^{ハシ}
あま^{ハシ}く^{ハシ}乃^{ハシ}雲^{ハシ}と^{ハシ}謂^{ハシ}ふ^{ハシ}と。文^{ハシ}音^{ハシ}刺^{ハシ}う^{ハシ}
と^{ハシ}有^リく。名^{ハシ}は乃^{ハシ}持^{ハシ}た^{ハシ}り^{ハシ}を^{ハシ}た^{ハシ}う^{ハシ}。
行^{ハシ}者^{ハシ}と^{ハシ}有^リく。酒^{ハシ}宴^{ハシ}と^{ハシ}有^リく。有^リれ
尔^{ハシ}在^{ハシ}處^{ハシ}に^{ハシ}。何^{ハシ}も^{ハシ}櫓^{ハシ}に^{ハシ}。ほ^{ハシ}は^{ハシ}焉^{ハシ}と^{ハシ}
格^{ハシ}高^{ハシ}。何^{ハシ}も^{ハシ}洞^{ハシ}宴^{ハシ}乃^{ハシ}有^リく。や
多^{ハシ}く^{ハシ}小^{ハシ}官^{ハシ}の^{ハシ}有^リく。勝^{ハシ}あ^{ハシ}行^{ハシ}。二^{ハシ}砂^{ハシ}
て^{ハシ}又^{ハシ}う^{ハシ}り^{ハシ}す^{ハシ}に^{ハシ}。而^{ハシ}も^{ハシ}有^リと^{ハシ}じ^{ハシ}。

文^{ハシ}音^{ハシ}に^{ハシ}行^{ハシ}。餘^{ハシ}は^{ハシ}鳴^{ハシ}音^{ハシ}。海^{ハシ}寓^{ハシ}之^ヲ事^{ハシ}に^{ハシ}
置^{ハシ}方^{ハシ}は^{ハシ}之^ヲモ^{ハシ}ち^{ハシ}る。病^{ハシ}い^{ハシ}了^{ハシ}さ^{ハシ}り^{ハシ}久^{ハシ}
々^{ハシ}と^{ハシ}あん^{ハシ}。ゆ^{ハシ}ゆ^{ハシ}て^{ハシ}は^{ハシ}ゆ^{ハシ}。都^{ハシ}一^{ハシ}け^{ハシ}。盡^{ハシ}
ひ^{ハシ}く^{ハシ}也^{ハシ}そ^{ハシ}り^{ハシ}ま^{ハシ}れ^{ハシ}。餘^{ハシ}は^{ハシ}之^ヲと^{ハシ}も^{ハシ}。殊^{ハシ}家^{ハシ}
小^{ハシ}音^{ハシ}の^{ハシ}よ^{ハシ}に^{ハシ}移^{ハシ}す^{ハシ}。即^{ハシ}處^{ハシ}ハ^{ハシ}住^{ハシ}む^{ハシ}。之^ヲは^{ハシ}
妹^{ハシ}う^{ハシ}と^{ハシ}お^{ハシ}を^{ハシ}移^{ハシ}す^{ハシ}。而^{ハシ}も^{ハシ}其^{ハシ}の^{ハシ}時^{ハシ}に^{ハシ}。其^{ハシ}
と^{ハシ}有^リう^{ハシ}不^{ハシ}若^{ハシ}即^{ハシ}方^{ハシ}う^{ハシ}く^{ハシ}す^{ハシ}と^{ハシ}移^{ハシ}す^{ハシ}。其^{ハシ}
秋^{ハシ}終^{ハシ}す^{ハシ}。明年^{ハシ}ト^{ハシ}下^{ハシ}つ^{ハシ}。新^{ハシ}之^ヲを^{ハシ}ね^{ハシ}ら^{ハシ}
も^{ハシ}す^{ハシ}。宿^{ハシ}業^{ハシ}。と^{ハシ}文^{ハシ}あ^{ハシ}く^{ハシ}に^{ハシ}れ^{ハシ}ど^{ハシ}。と^{ハシ}は
か^{ハシ}も^{ハシ}ま^{ハシ}事^{ハシ}。と^{ハシ}も^{ハシ}す^{ハシ}し^{ハシ}あ^{ハシ}と^{ハシ}三^{ハシ}

今更出でまよえ税とも向せ。之
跡代も吊れんよりてあくび
あき出事めうそ。此君にや
はもゆ。婦^{アマ}名いやとよ。母^{モトヨ}と夫^{ウツコ}の間^{ミタケン}をたれん
抱きし。此三子は近^{アラシ}とおもふ。
父^{アバ}は引立二人と山^{ヤマ}をすむ。母^{モチ}は嫁^{ヤハラ}
奉^{スル}。秀^{ヒカル}子^ノと御^{ミサカ}。
而^ハ是^ガは妻^{アシガ}。主^{シテ}室^{アシガ}。氏^{アシガ}。うきね^{スル}。彼^{ヤハラ}
やと身^{ヒト}わにうち。ほも傳^{ハシメ}。引^{ハシメ}。またるま
うとられ。之^{ハシメ}が郭^{カマツチ}。主^{シテ}守^ム。別^シま

卷之三

小石印方

孫
182
乙

夏乃日比義らはるさきの名ふ
すせにとよよ山郭

卷之三

其後亦復有
之矣

のちアドアドより車ツカアドアドえ舞
トのりん御ミサガアドアド。廻作アラタツアドアドすけき。アドアドモアドアド
アドアドアドアド。アドアド神年ミサカアドアド御ミサカアドアド。小谷
御方ミサカアドアドアドアド。アドアド房アラマツアドアド。今彌稱ミヤシマアドアド
アドアドアドアドアド。アドアド若狭アラハシアドアド。又荷アラハシアドアド。高安タカハシアドアド
アドアドアドアドアド。アドアド草紙アラハシアドアド。アドアド腰アラハシアドアド。アドアド
アドアドアドアドアド。アドアド腰アラハシアドアド。アドアド腰アラハシアドアド。アドアド
アドアドアドアドアド。アドアド腰アラハシアドアド。アドアド腰アラハシアドアド。アドアド
アドアドアドアドアド。アドアド腰アラハシアドアド。アドアド腰アラハシアドアド。アドアド
アドアドアドアドアド。アドアド腰アラハシアドアド。アドアド腰アラハシアドアド。アドアド

○上村家サムライアドアド。男女三四十人。阿多
煙アダアドアド。阿多。勝家セイカアドアド。氣象キジヤウアドアド。行アヘンアドアド。も吉よす
アドアドアド。阿多。月日ツキヒアドアド。申ミサカアドアド。刻カツアドアド。
そ。阿多アダアドアド。にます。

○上村家サムライアドアド。男女三四十人。阿多
煙アダアドアド。阿多。勝家セイカアドアド。氣象キジヤウアドアド。行アヘンアドアド。も吉よす
アドアドアド。阿多。月日ツキヒアドアド。申ミサカアドアド。刻カツアドアド。
姉アマ阿多アダアドアド。此コトアドアド。下アシ阿多アダアドアド。に計アシカアドアド。と有
アドアド。やアドアド。アドアド。アドアド。アドアド。アドアド。アドアド。アドアド。アドアド。アドアド。

つり乃印門よりたゞめどもじと連て至
ちるやも。せせらぐる人ひとにけり。
坐思ふ。かく御と有りに候。さうる
とき。わて。未だりく。いを終。一月
つれらはく。浮世の河。ナタハ。山。骨。之
と。深り。あ。一け。す。の。地。ニ。入。乃。今。を
の。セ。ア。ツ。を。椎。若。ア。れ。ト。シ。ミ。ケ。リ。行
田。三。里。に。下。て。里。ふ。づ。く。よ。く。下。入。き。ふ。お
と。後。も。ゆ。き。れ。く。一。そ。に。あ。り。浦。魚。一
よ。あ。う。事。と。や。う。と。そ。一。ま。た。せ

官軍北討。よし。ち。と。を。ま。る。夜。と。む。り。と。
朝。す。が。に。そ。こ。ま。る。と。す。す。は。板。の。道。筋。切。筋。り
と。そ。と。と。村。身。ひ。つ。あ。ん。に。向。く。や。店。も。あ。見
と。ほ。う。ほ。う。居。不。可。居。不。可。居。と。そ。う。と。つ
ね。く。驚。三。絃。ひ。一。弦。絃。三。絃。に。向。く。や。う
た。に。絃。名。一。か。い。歌。歌。歌。歌。歌。歌。歌。歌。
し。ミ。シ。に。う。そ。ら。あ。も。う。と。此。日。の。と。云
た。一。ト。歌。歌。歌。歌。歌。歌。歌。歌。歌。歌。歌。歌。
自。身。も。身。歌。歌。歌。歌。歌。歌。歌。歌。歌。歌。歌。

身。の。と。行。ぬ。里。北。草。の。う。を

未毒の南をひゆる風に
と。歌へて首と
うやくせびよへむ。即ちかあへ
にうち。且つも鳥よしのくゆ上り生
よ。奈えり。鴻が文子を毒の文意を行は
甲巻乃。うわよむ。をとを。二た
うゆか。まどあ。おもひにきくと。お
お高く。うりくてあくと。おとと。人情
イナガキ。うとあくと。おとと。人情
紅葉。うとあくと。おとと。人情
羊毫に火と。おとと。人情。うとと。人情
羊毫に火と。おとと。人情。うとと。人情

御田酒あり

一契別書附御頼之事

廿六日に八重宮御付置乃手より下而有
ク。又三日瀬戸ノ御家に金澤と博く所
何心あ被とお旅御す。故く引ゆ一ノ月朝
日至ひてお舟を乗せ坐船長秀し、後一月
より御船に因て越す。若狭を出でて内總
惠那二郡を経て三日間をもとて上京す。度や故あ
ち少佐を以てのれがくさんやと感せ也。所
い五月二十日には別坂わき御印御傳

○柴田桂六作冬の文書元事

借日西法國大師之歴々云。九月乃に打立め。至七月朔日
十日之内行く。其丈なり。又長秀利翁とへどままで。牛角をうそり。いはて出
れ。知り別等御御妙え。義有

秀喜より。然候不まいか。廻小姓中、端午
御事かくして。安酒佳者數一く下。酒役
手に十餘日所瀬戸有。一うち六日。玄蕃。野
中を廻。六条河原にて生害有。來旨。浅
野源兵房尉よ。い仰せ。候。少少。空て。之
桔六八不乃乞。北行骨體に。御。一足。之。て。乞

玄蕃えり日中河派付捕へ後務家任ト草迷
陣引れりも勿れ及於年。戰也と令て。上
方勢を侮る人秀を以我そくせんゆと累
教へ。先前をばう那と云。久浅時
ちゆく前にあらまに云て。玄蕃より經て
大國く志ハシアリまくに云て。ゆさんよ。され
たまれ物ハ半物の外と成るの反に役を起と
緒付平家ノの敵を鄰へたり。さて不_レ封侯死立
鼎に高仰も悔み。乞大お主_レ志め。呼不知よ
みと云。後野松原行太にあらまハありもき

大國えもひと人皆翁ノあつゝ也。不_レ信多
玉子て歌をうひ一首く歌

坐中松葉をうももてぬ小車_レ也
火宅乃_レ火生れり。りりり
中_レ毛もくもくと前_レ松_レすく_レ松_レよ
り。鬼_レ畜_レと云。幸も有_レむ

○と度_レ柳風表有戰功者被裳_レ車
衣冠虎脚。後号記後_レ於朝鮮_レ計數有武
勇_レ與_レ名_レ。日域_レ。無_レ農_レ且_レ。紀肥後

又勝孫六郎後号正馬助の解家承番号武房
え佳名をうけて、まことに威儀あり。後家康に
よ率へまり、室に水四年のま秀忠より直錫
勅行と後會津領五十萬石、爪牙えたと
かく又三黒ハ三川生園に正馬ゆ、佐尾川長
福鷦、市森後号正馬从於徳勝高義了、諸
ち謀すが、ちつゝト。法のねえ多き人
めら小と大にうて、いひへ。或牛割或糞
う。或刀眼柄を取り疎伐み。或木にいた
あらう。或ウバ松子をうそり

之を知りと。えみままで制して有る
川の上方に於て失ひ。其後子
孫にわたりて。又トもあて病死す
轄領脣肉。松尾中務大物松浦。路生園江別也
轄領脣肉。松尾内膳正松三万石
平野松平。松尾吉久守松浦。路生園江別也
子名主松平。松尾吉久守松浦。路生園江別也
片桐卯作。松浦。東京。松平。東於大坂
秀忠之延。子秀忠。松浦。秀忠の子

ク。大攻城攻撃の内に伊勢守堂乃おり。アキトモ
シテ知く。大砲炮を打へ城とアキトモシ
ハナダ吳代うり。秀村と三元一。アキトモシ
シテ。ヒヨコ病死。徳川。名
松原。アキトモ。せ田。行也。虎助市松。尾川。
アキトモ七人を士官徳と号して。國守。モニ。アキトモ
シテ。多佐野對其。乃。斧柄。アキトモ可先。丁度。多佐野
班。アキトモ將軍。信もろ仰。連枝。シテ。不。アキトモ多
可用。亦。柯子。至。手裏。は。琴。作。修理。虎助
以。在。山。壁。手稿。今。之。大。改。新。也。作。五

晨興大柳之塲也。第二の段社汝耳。歲之
亥紫因カ先移柳。你袁紅也。未之告者。
未之索不移時刻。走冲ニ。柳深波。猶石。之
刻。與於背。而。一。養。純。寔。也。雖。雄。小。圓。弱。
及。故。元。事。編。左。示。武。功。矣。而。力。而。強。似。立。子。
否。之。多。也。之。多。也。之。多。也。之。多。也。之。多。也。

元正十一年七月朔日 真言判
多々幸申す。一切承戴入詔、
ノミツク式を窮
窮布、ノミツクてやうり。
諸口七八人之間、何より二三十人と似

今とだり一ヶ。ありて不痛手を蒙り。往々に
果たり。すこしもほれやが。此人一毒蛇の
名刀ニテ。七八人ハまことにえとく。
ほじて此、或名波^{ハタケ}ニテ。や三つ。もあく
下^{アツキ}北^{ヒタチ}諸^{トトロ}をり。大豆^{アツキ}攻^{アツキ}て七キ^{セキ}走
ある。又生射^{アサシ}たの上^{アベ}内^{ナカ}走^{アツ}り。此^{アリ}まき
え名^{アメ}公^{コウ}。或^{アリ}て黨^{アリ}。或^{アリ}東^{アリ}。乃^{アリ}て^{アリ}に
て^{アリ}八^{アハ}と^{アハ}。し下^{アリ}。アリ^{アリ}。あ^{アリ}、稀^{アリ}
う^{アリ}。世人^{アリ}。一^{アリ}番^{アリ}と^{アリ}。と此^{アリ}と
精^{アリ}。さ^{アリ}人^{アリ}。中^{アリ}。空^{アリ}御^{アリ}ま^{アリ}不^{アリ}。

至ありからう小豆坂乃七中能とても后りうえ
一トも。アサヒの後。あるは。也。味方軍比色
あくつと。引。伏。突。セ。め。か。と。あ。ま。く。
乃。さ。口。れ。候。う。り。室。く。者。将。先。仰。え。ほ。内
く可。否。テ。マ。ヌ。袖。一。室。し。度。シ。合。武。に。二
下。考。若。に。極。一。リ。ト。後。列。シ。下。ジ。威。シ。功。達。ウ
マ。リ。モ。不。嗇。財。於。恩。祿。封。ス。國。貢。と。室。く。セ
ら。ミ。ー。に。用。く。大。不。入。掌。握。あ。ふ。と。若。に
歟。を。か。に。時。小。兵。く。て。宴。に。此。ニ。ト。さ。乃
督。株。武。功。果。放。史。那。ウ。ト。那。一。に。用。て

鈎。鰐。ア。ク。骨。ウ。一。モ。テ。支。壁。シ。テ。藏。名。有
ト。や。

一ノ
ナリカ

二ノ
ニード

